

## 次期総合振興計画（区の将来像）に係る中央区検討懇話会 議事要旨

**開催日時**：2018年11月28日（水）10：00～12：00

**開催会場**：さいたま市中央区役所

### 検討委員：

さいたま市PTA協議会中央区連合会	阿部 達哉氏
さいたま市交通安全保護者の会中央支部	家崎 清子氏
与野地区社会福祉協議会	五十嵐 健一氏
花いっぱい運動推進会中央支部	岩崎 道行氏（職務代理）
中央区民生委員児童委員協議会	奥田 由江氏
中央区老人クラブ連合会	品川 惣壽氏
与野身体障害者福祉会	高橋 一男氏
中央区スポーツ振興会	立川 雅子氏
中央区ボランティア連絡会	中山 学氏
埼玉中央青年会議所	原 真氏
与野農業振興組合	松本 一夫氏
中央区子ども会連合会	望月 三之氏
さいたま商工会議所中央支部	本澤 繁氏（座長）
与野商店会連合会	山崎 均氏
中央区自治連合会	吉野 喜八氏

委員：

中央区を他と比べると目立った課題少ない。人に勧められる名所がないというのも他と同じ。

委員：

総論と各論に分けて議論したい。例えば高齢化を取り上げたい。

委員：

子どもにとってよいふるさと、誇りの持てる街を作りたい。ポイント3（学ぶと交流を通じた、地域の誇りと愛着を持つ人づくり）は、気持ちに合う。ふるさととして中央区を見ると与野の歴史がある。「本町」という呼称でよいのかという問題意識はある。

委員：

安全安心が重要であり、高齢者にとっては、車がないと外に出かけられない状況にある。高齢者や子どもにとって安心して通れる、歩ける道路が重要で、コミュニティバスも検討してほしい。

委員：

バイパスの西側のアクセスはそれほど悪くない。高齢者施設や障害者施設が多く、交番がないなど子どもが寄れるところが少ない。今すぐに高齢化に対するビジョンが必要。子どもも同じ。高齢者の居場所、子どもの遊び場が少ない。1丁目ごとに20坪の居場所があればよく、午後3時頃までは高齢者、それ以降は子どもが利用すればよい。

委員：

農業生産物を市民に直販する仕組みとしたい。直売所が中央通りに開設できるとよい。本町通りの活性化が必要。一方通行にして子どもを中心に歩行者の安全を向上することが必要。高齢者の買物のためにバスが必要。都市化の中の農業の課題として、相続によって廃業してしまう点がある。

委員：

川沿いの道を歩きやすくすべき。桜がきれいなのでベンチを置いてはどうか。地区社協と共同でイベントできればよい。子育て世代にも参加してほしい。ルールなどによって子どもたちが多様な遊びができていない。高架下の有効利用が重要。午後3時頃まで高齢者、それ以降は子どもが利用すればよい。

委員：

居場所については、雨風が凌げればプレハブでよい。トイレとキッチンがあれば高齢者は集まって談義することを好む。公園等に 10～20 坪あればよい。

委員：

障害者福祉会も高齢化が進んでおり、近年障害別に活動している。自ら属する身体障害のグループについては、高齢化により設立の昭和 28 年からのメンバーが二人となった。市内巡回バスがあると出かけやすい。

委員：

人口が 10 万人になったが、今後の人口減少について資料に基づき議論したい。高沼用水の護岸に歩道が整備されるとよい。鴻沼はもう少し力を入れて水と緑と花のネットワークの中で重点化すべきだ。緑の保全が困難になってきているので、市として取り組むべきだ。災害時のブロック塀の代わりに市で緑の壁づくりに補助していると聞いた。

委員：

外国人労働者が増えてきた。共生をどうするか。人口減少、市税収減少の中で、箱物は作れなくなる。複合化、効率化と不便のバランスをどうするかが課題だ。社会保障費が増加する中で市はどうするか考える必要がある。

委員：

スポーツはポイント 3 に関係する。特に「子どもから高齢者」。振興会では年 2 回イベントを実施している。春にスポーツフェスティバル、秋にハイキングである。外国人が多いという話だが、2020 年に多くのボランティアが必要となる。民泊を含め交流への準備が必要となる。

委員：

中央区に多くの組織がある中で、「交流が育てる安心なまち」を進めていくことが重要。このフレーズはよい。都市文化については、変えた方がよい。「調和のとれた都市文化」のイメージが沸かない。

委員：

中央区として PR できるものがあつたらいいと思う。高齢者が交通不便により、外に出かけられなくなる点は課題。コミュニティバスが必要。子ども自転車免許の取組の中で、父母が交通ルールを知ることが重要。マナーの前にルールである。

委員：

老人会のメンバーが減少する中で、若い人にも協力してもらいたい。フルート、ピアノ演奏会を実施しており、長く続けたいが場所が課題。老人等が集まる場所が必要。老人は談義を  
したいだけ。まちかどでお茶ができればよい。郊外よりまちなかが重要だ。

委員：

学びと交流とあるが、高齢者の社会参加の勧めが重要。老人会の加入率は20%。

委員：

敬老のお祝いを地元商品券にしてはどうか。

委員：

メンバーとして地域包括支援センターを加えるべき。現場の意見があると思う。人口減と高齢化をより具体的に示してはどうか。自治会長の悩みは民生委員のなり手がいないこと。1  
民生委員が150～200世帯と多い。人数増やすべき。

委員：

民生委員は高齢者への行政情報の提供に寄与している。

委員：

与野駅前にはマンションが多いが、若い世代の世帯については、1人の民生委員が担当する  
世帯が多くても対応できる。